２０２５年度　文部科学省　中卒認定　国語　図書委員会の話し合い

文部科学省　２０２５年度　中学校卒業程度認定試験　国語

文部科学省ウェブサイト利用規約（公共データ利用規約　第１．０版準拠）

対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

https://www.mext.go.jp/content/20260326-mxt_syogai02-mext_000045426_01.pdf

https://www.mext.go.jp/b_menu/1351168.htm

4

第一中学校の図書委員会では、田中さんを司会にして「学校図書館の本の貸し出し冊数を増やすための取り組み」について話し合うことになりました。次の**【話し合いの一部】**を読んで、後の1から3までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれの**ア**から**エ**までの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

【話し合いの一部】

田中：それでは、学校図書館の本の貸し出し冊数を増やすための取り組みについて意見のある人はいませんか。

木村：はい。私は、最近話題になっている漫画を置くことを提案します。今でも歴史の学習漫画などは置いてありますが、最近話題になっている漫画は置いていません。漫画を読むことが好きな人は多いので、話題の漫画を置けば、借りる人が増えるのではないでしょうか。

佐藤：私は、最近話題になっている漫画を置くことに反対です。確かにそれで学校図書館の貸し出し冊数は増えると思います。でも、学校図書館は学習するための本を貸し出す場所ではないでしょうか。最近話題になっている漫画は学習とは関係がないと思います。そのような本の貸し出し冊数が増えても、学習するための本を貸し出したことにはなりません。

西山：待ってください。漫画は日本を代表する文化で、海外でも人気がありますよ。漫画は置くべきです。

大川：でも、漫画ばかり読んでいたら、文章を読んで考えたり想像したりする力が弱くなるかもしれません。私は反対です。

田中：ちょっといいですか。今は、学校図書館の本の貸し出し冊数を増やすための取り組みについて話し合っているので、その点からの意見はありませんか。

山下：はい。私は、学校図書館に置いてある本の魅力を全校生徒に伝えるイベントを開催することを提案します。もちろん、木村さんが言ったように、学校図書館に（　　）と思います。でも、それよりも、学校図書館に置いてある本を読んでもらいたいのです。なぜなら、私は、今まで学校図書館で借りた本を読んで感動したことが何度もあるからです。そのような魅力のある本が読まれないのは、何だかもったいないような気がします。

1　　で囲まれた佐藤さんの発言について説明しているものはどれか。

ア　自分の意見を明確にして、根拠となる事実を順に示すことで反論を述べている。

イ　自分の意見を明確にして、異なる立場の意見を踏まえながら理由を述べている。

ウ　他の立場の意見を取り上げて、その問題点を示した上で解決方法を述べている。

エ　他の立場の意見を取り上げて、自分の意見と比較しながら共通点を述べている。

2　今は、学校図書館の本の貸し出し冊数を増やすための取り組みについて話し合っているので、その点からの意見はありませんかという田中さんの発言について説明しているものはどれか。

ア　多様な意見を引き出すために、様々な観点から考えるよう促している。

イ　多様な意見を引き出すために、出された意見の共通点をまとめている。

ウ　目的に沿った話し合いにするために、出された意見を整理している。

エ　目的に沿った話し合いにするために、話し合う話題を確認している。

3　（　　）に当てはまる山下さんの発言を考え、十五字以上二十五字以内で実際に話すように書きなさい。